

記録し、予測よりも早く人口減少局面を迎えましたが、本町においても出生数が減少しています。少子化は町の活力の低下を招くだけでなく、子どもたちが成長していくうえで、社会性を育むことを阻害するなど多くの問題があります。ひとつの施策で解決する問題ではありませんが、共稼ぎ家庭や乳幼児期の人格形成の場として重要な役割を担っている保育所について、様々な保育需要に対応し、安心して子どもを生み、育てることのできる環境づくりに取り組んでまいります。



「まちづくりは人づくり、 根幹は教育の充実」

今日の自己中心的な考え方や地域・家庭の教育力の低下により基本的な生活習慣や、社会的規範を身につけていない子どもが増えていると言われています。このような問題を考えるときに、本町の将来を担う子どもたちは、やはり地域全体で育てていかなければならないと思わずにはいられません。心豊かでやさしさとたくましさを併せ持つ子どもたちを育ていくために、家庭・地域・学校が一体となって「人づくり」に取り組む所存であります。

また、19年度には、町民の皆様のご念願でもありました岩美中学校の整備に取りかかります。現在実施設計を行っているところであり、平成21年4月の開校を目指します。「心身ともに研鑽し、卓越した人材を多く輩出できる」そのような教育環境を整備して参ります。



「豊かな資源を 活かしたまち」

本町の基幹産業である農林水産業の振興は、重要な課題であります。後継者不足などで活力が低下しております。一方で、平成19年には団塊の世代が退職を迎えますが、社会経験・技術が豊富なこの世代の方々の力をかりることで、本町の農林水産業の振興を検討していきたいと考えております。また、観光においても、農林水産業とのタイアップによる体験型のメニューなど、他の地域



にない魅力を創出し、より多くの方々に岩美町にお越し頂けるように考えております。また、人口が減少する中、空き家有効利用など定住施策を進め、Uターン、Iターンを進めてまいりたいと思っております。

この他にも、町民の皆様にとって重要な生活基盤となる駒馳山バイパス、東浜居組道路につきましては、引き続き早期開通にむけて努力して参りますし、ライフラインの整備として進めてきております公共下水道事業につきましては、岩井地区等の整備を進めて参ります。また、保健・医療・福祉の総合的な機能を提供する「すこやかセンター」は、皆様の健康と暮らしを守る拠点施設として、大きな役割を担っております。特に、岩美病院はセンターの中核をなすわけですが、医師退職により病棟の休止など皆様にご迷惑、ご不便をお掛けしております。医師不足は全国的な問題ではあります。一刻も早い再開に取り組んでおりますので、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

皆様の一層のお力添えをいただきながら、職員も一丸となって町政の遂行にあたっていきますので、よろしくお願いいたします。

皆様のご多幸とご健康をお祈り申し上げて、年頭にあたってのごあいさつといたします。